

研修資料2-1 ～ 当社における事故・違反の状況

契約上の義務

お客様との契約書～総則（抜粋・要約）

乙（トーカー・ドライバー）は甲（お客様）に対して管理請負業務の完遂義務を負い、**関係諸法令等を遵守**するとともに、管理車輛の管理、保管を行い安全かつ円滑に運行させ、その機能を維持させるため、**常に善良なる管理者の注意**をもって、乙の責任において履行するものとする。

2021年上期～足元コロナの影響が収まりつつも事故件数は増加の一途!!

～人身事故は0更新が途絶え3件。物損事故・自損事故ともに増加が顕著！

～すべての事故を**役員部長で原因を検証**→査定、場合により**懲罰処分**の対象に

非あり	17年下	18年上	18年下	19年上	19年下	20年上	20年下	21年上
人身事故	4	1	1	0	0	0	2	1
物損事故	4	5	6	8	4	0	5	4
自損事故	21	11	18	18	20	11	17	29
合計	29	17	25	26	24	11	24	34

（※非あり事故…車輛管理者に何らかの瑕疵がある事故）

無報告・報告遅延・個人賠償不可～自分が事故を起こすとは思わなかった
～注意喚起や研修を自分のこととして受け止めていない

過去1年間の事故（58件）の内訳

場所	・いつもの駐車場	23件	運転操作	・前進	21件
	・狭い道路	9件		・バック	16件
	・出先の駐車場	9件		・右左折	9件
	・交差点	7件		・駐停車時	7件
	・普通の車道	6件		・車線変更	3件
	・路上駐車	3件		・その他	2件
	・高速道路	1件			
要因	・だろ（確認不足）	38件	自損部位	・側面（上部も含む）	18件
	・焦り（気を取られて）	10件	計58件	・前部	14件
	・操作不適	5件		・車輪	12件
	・もらい事故	3件		・後部	10件
	・その他	2件		・ミラー	4件

※業務外の交通事故は、人身・物損の場合のみ担当部長に口頭で報告のこと

過去1年間の違反（30件）の実態（20/10～21/9）～このくらいはという甘い気持ち？

- ①スピード違反 6件 ～30km/h以上の超過1件、25km/h以上2件、20km/h3件、
※乗車中3件、回送中3件
- ②通行禁止違反 5件 ～時間帯右折禁止が内3件、認知不足2件。乗車2件、回送3件
- ③信号無視 5件 ～直進矢印で左折による信号無視3件。他2件は認知・判断ミス。
- ④指定通行区分違反 4件 ～白実線の直進レーンから右左折レーンの跨ぎ2件。思い込みによる違反
- ⑤横断歩行者妨害 4件 ～信号なし交差点の直進による違反2件。歩行者立ち止まり1件
- ⑥駐車違反 3件 ～トイレ休憩時の違反3件、駐車禁止区分内1件。
- ⑦指定場所一時不停止 2件 ～標識認知不足による違反。
- ⑧進路変更禁止違反 1件 ～想定ルート間違いにより発生。交差点内での車線変更。

～昨年度(26件) 比やや増加、コロナの自粛も緩和される中、運行増加により足元はハイペース。

2021年下期(10月～12月)も既に5件の違反が発生。内3件は運転証明書確認による報告漏れ。

***交通違反はプライベートでも必ず速やかに報告のこと。**

研修資料2-2～事故事例・新聞記事(抜粋)

事故事例

【いつものお迎えの駐車場で】役員様ご自宅マンションの車寄せから路上待機するため、クルマ移動中のバック操作時、パイプ使用のガードレールに接触。死角範囲が大きい左後部への目視が不足したことにより発生。損害額97万円

【高速道路の合流地点で】高速道路のジャンクションでの分岐点で発生した事案。分岐直前で右後方から右後ドアに追突されたが、幸い役員様側ではなく、大事には至らなかった事案。車対車「過失割合」当方2：先方8 損害額77万円

【夜間回送中に発生】信号のない交差点を走行中、右から無灯火の自転車が速度を落とさず進入。避けきれず、車両の右前部と自転車の後輪が接触する人身事故の事案。相手方は転倒し軽傷、当方は車両の前部が損傷となる。損害額50万円

【側道への車線変更の時に】走行中の国道から側道へ車線変更を行った際、側道から国道へ車線変更した相手方と接触。左の後部ボディ・バンパーを損傷。左後方の注意・確認不足により発生。

【天井の低い駐車場で】出先での待機のため出入口が異なる駐車場に入ったが、出口の天井が低くなっていて、そのことに気づかず出庫したため、車の天井のアンテナを破損した事例。損害額50万円

【出先の狭い路地にて】出先の狭い路地を左折する際、確認不足および操作不備により、車左ドア・左スポイラーと民家の壁に傷をつけた事例。損害額43万円

【いつもの駐車場で】いつもの駐車場で地下駐車場に入る導線上で、目測と操作不備により、車の前部左側が壁面に接触。その反動で後部左側も壁面に接触した事例。損害額107万円

事故発生時のトピックス

下記事故事例が発生！管理車両に設置されているドライブレコーダーについて確認して下さい。

- ・説明書を読んで頂き事故発生時のSDカードの抜き取り方・映像範囲の確認。
- ・事故発生時に慌てないように、お客様の了承を得て記録映像を一度確認。

【SDカードの内容が上書き】事故発生後の3日後、SDカード内の映像を確認したところ、容量が小さく3日前の映像が上書きされ保険会社へ証拠提出ができなかった。

【全く記録されていなかった】事故発生時の映像を確認したが、全く映像が記録されていなかった。稼働ランプはついていて、設置当初から記録されていなかった。

新聞記事(抜粋)

2022年1月4日 日本経済新聞 都内交通事故死者133人 神奈川県が全国ワースト1
昨年1年間の都内の交通事故による死者は133人で前年よりも22人減り、全国ワースト3となる。都道府県別の死者数では、**神奈川県が142人(前年比2人増)**と統計史上初めて**全国ワースト1**となった。大阪府が140人(同16人増)、東京都が133人(同22人減)で続いた。全国では2636人(同203人減)となり最少を5年連続で更新した。警視庁によると、**日本は欧米と比べて歩行中や自転車乗中に亡くなる割合が高い**。世界と比較したところ、日本は歩行者の割合が35.6%に上ったが、米国は17.6%、ドイツやフランスは14.0～14.5%だった。死者数をさらに減らしていくには、**子どもや高齢者などの歩行者の安全確保、自転車の順法意識の向上が課題**となる。